

曜日	月	火	水	木	金	土1	土2	土3	土4
開始時刻	18:30	18:30	18:30	18:30	18:30	10:00	11:50	14:00	15:50
終了時刻	20:00	20:00	20:00	20:00	20:00	11:30	13:20	15:30	17:20
科目No.	108	110	104	112	103	102		101	
科目名	化学物質総合管理法3	化学物質総合管理学特論1	化学物質総合評価学特論1	化学総合評価管理学特論5	化学物質総合評価学事例研究1	化学物質総合評価学1		化学物質総合評価学概論1	
サブネーム	医薬品と食品等の安全	化学物質管理と公害防止・環境保全	発がん毒性評価	食品のリスク評価・管理の基礎	農業	リスク評価1		化学物質リスク評価の基礎1	
講義期間	4月17日～7月31日	4月18日～7月25日	4月19日～8月2日	4月13日～7月27日	4月14日～7月28日	6月24日～8月5日		4月15日～6月17日	
備考						後半		前半	
講師／連携機関	佐々木弥生ほか／厚生労働省、国立医薬品食品衛生研究所	堀中新一ほか／化学工学会SCE・Net	津田洋幸ほか／名古屋市立大学大学院医学研究科	武居綾子ほか／日本国際生命科学協会	高山千代蔵／住友化学	岸田文雄／住友化学		高月峰夫ほか／化学物質評価研究機構	
科目No.	302	111	202	301	304	105		106	
科目名	社会技術革新学特論1	化学物質総合管理学特論3	生物総合評価管理学1	社会技術革新学概論1	社会技術革新学特論5	化学物質総合管理学概論1		化学物質総合管理学3	
サブネーム	高分子と生活社会1	持続可能な社会をめざす化学技術	遺伝子組換え生物のリスク評価と管理	効率的な技術革新とは	化学技術と産業社会1	社会と企業における化学物質リスク管理の基礎1		労働現場におけるリスク評価と管理	
講義期間	4月17日～7月31日	4月18日～7月25日	4月19日～8月2日	4月13日～7月27日	4月14日～7月28日	4月15日～6月17日		4月15日～6月3日	
備考						前半		前半	
講師／連携機関	角五正弘ほか／高分子学会	日吉和彦ほか／化学技術戦略推進機構	堅尾和夫ほか	金城徳幸ほか	山本 疆ほか／化学工学会SCE・Net	星川欣孝ほか／製品評価技術基盤機構・化学生物総合管理学会		保利 一ほか／産業医科大学	
科目No.	307	201	203		308	305		109	
科目名	社会技術革新学特論1.1	生物総合評価管理学概論1	生物総合評価管理学3		社会技術革新学特論1.3	社会技術革新学特論7		化学物質総合管理学事例研究1	
サブネーム	現代企業経営論1	感染症の過去・現在・未来	生物学と農業の接点を探る		ナノ材料の開発の現状と展望	化学技術戦略1		経験に学ぶ化学物質管理	
講義期間	4月17日～7月31日	4月18日～7月25日	4月12日～7月26日		4月14日～7月28日	6月17日～8月5日		6月24日～8月5日	
備考						後半		後半	
講師／連携機関	原田忠和ほか／ディレクトフォース	倉田 毅ほか／国立感染症研究所	大島正弘ほか／農業生物資源研究所		竹村誠洋ほか／物質材料研究機構、産業技術総合研究所	熊井清作ほか／化学技術戦略推進機構		横山泰一ほか／製品評価技術基盤機構・化学生物総合管理学会	
科目No.	502		204		504	501		306	
科目名	コミュニケーション学事例研究1		生物総合評価管理学特論1		コミュニケーション学特論1	科学コミュニケーション学概論		社会技術革新学特論9	
サブネーム	マスメディアとコミュニケーション		麻薬とタバコのリスク管理		消費者運動の歴史と将来	科学技術と社会に関する議論		オーダーメイド医療の最前線	
講義期間	4月17日～7月31日		4月19日～8月2日		4月14日～7月28日	4月15日～6月17日		4月15日～6月17日	
備考						前半		前半	
講師／連携機関	中村雅美ほか		佐竹元吉ほか		佐野真理子ほか／主婦連合会	林 真理ほか		中村祐輔ほか	
科目No.			303			403			
科目名			社会技術革新学特論3			リスク学事例研究3			
サブネーム			エネルギーと技術革新1			組織行動学による失敗事例の検証(その1)			
講義期間			4月19日～8月2日			4月15日～5月20日			
備考						4日間の集中講義			
講師／連携機関			山崎 博ほか／化学工学会SCE・Net			石橋 明ほか／失敗学・組織行動研究会			
科目No.						503			
科目名						コミュニケーション学事例研究3			
サブネーム						地域とコミュニケーション			
講義期間						4月15日～5月20日			
備考						4日間の集中講義			
講師／連携機関						堀 郁夫ほか／科学技術振興機構			
科目No.								505	
科目名								コミュニケーション学特論3	
サブネーム								環境の科学	
講義期間								4月15日～6月17日	
備考								前半	
講師／連携機関								市村禎二郎ほか／日本化学会	